

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 29 日

Table with columns for 事務事業名, スポーツ少年団育成助成事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 0304 生涯スポーツ活動の振興, 予算科目, 会計, 款, 項, 目, 事業, 細, 一般会計, 事業期間, 法令根拠.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about sports clubs and staff.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for activity counts, target groups (children), and performance metrics over 5 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial input details: 26年度 (実績), 27年度 (実績), 28年度 (計画), 29年度 (目標), 30年度 (目標), 期間限定総投入量. Includes categories like 国庫支出金, 事業費計, 人件費.

Table for 事業費の内訳: 27年度事業費 実績 (千円), 28年度事業費 予算 (千円). Includes rows for 19 負担金補助及び交付金 and a total row.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes a note about recording content by year and a list of main activities.

事務事業名	スポーツ少年団育成助成事業	事務事業No.	30403000099	所属課	スポーツ振興課
-------	---------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ・桜川市の誕生に伴い、旧町村にそれぞれあったスポーツ少年団が一括化され、平成17年12月に桜川市スポーツ少年団が発足、以後少しずつ単位団が増加傾向にあったが現在はほぼ横ばい状態が続いている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・少子化に伴い各単位団の団員数が減少傾向にある。団員数を確保するため更なるPR活動をしてみてはどうかという意見が寄せられている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・スポーツ少年団の普及と育成及び団活動の活性化を図り、地域の青少年育成に寄与することを目的とする活動は、スポーツを通して健康で豊かな生活を送るといった結果のための手段となっているため結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・意図にある団活動により、結果を生み出す契機となっている。また、市民がスポーツに親しめる環境をつくっていかねばならないので妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない ・主に各単位団で活動しているため、向上余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・各単位団が活動する場が減少することによってスポーツに親しむ機会が失われ、また、保護者の費用負担が増し、意図にある普及と育成を達成する手段がなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない ・スポーツ少年団の普及と育成を図る事業は本事業以外ない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない ・スポーツ少年団の活動(大会準備、同運営)は自主運営に移行しており、市と単位団との役割分担が決められているので削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・市民のスポーツ活動、また、青少年育成の一環であるため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・評価により示された通りスポーツ少年団の理念にある自主活動ののっとり各単位団とも適切に活動を行なっていることが確認でき、単位団の役割と、市の役割が計画どおり遂行されているが、少子化に伴う団員減少が続いており、その結果、活動低下が懸念され、それを防ぐための活動活性化を図らなければならない。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ( <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる)	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---